

公益社団法人神戸女学院めぐみ会

2026年度（令和8年度）事業計画

自 2026年（令和8年）4月1日 至 2027年（令和9年）3月31日

【法人理念】

当法人は、キリスト教信仰に基づく学校法人神戸女学院（以下「神戸女学院」）の立学の精神を重んじ、その教育・研究の助成、学術、文化及び教育の振興・普及、国際相互理解の促進を通じて、社会に貢献することを目的とする。

【事業部門】

I. 公益目的事業

1. 神戸女学院の教育・研究を振興し、私立学校による女子教育のより一層の充実を図り、有能な人材を世に送り出すことをもって社会に貢献する事業

(1) 学院めぐみ教育基金寄付

神戸女学院が国内外からすぐれた学者、教育者を客員教員として招聘するための基金への寄付

(2) 学生生徒活動の助成金

神戸女学院の学生生徒の国際交流活動・社会活動への助成

(1)、(2)の財源を得るため、神戸女学院愛校バザーを5月23日（土）に学院と共催し、収益・バザー寄付を神戸女学院に寄付する。

(3) 学院事業協賛寄付

神戸女学院への寄付として指定された寄付金による寄付、キリスト教挙式サポート事業による学院への寄付

- ・神戸女学院教育振興会（学院の寄付受付窓口）への寄付
- ・神戸女学院への寄付として指定された寄付金による寄付
- ・キリスト教挙式サポート事業（学院施設のソール・チャペルにおける挙式）を当法人が運営し、経費を差し引いた挙式料を学院に寄付していたが、提携ホテルの撤退により、2026年度（令和8年度）は休止。

(4) めぐみ会賞の授与

神戸女学院の学生生徒の自主的な活動を称え、支援する。

神戸女学院の立学の精神にふさわしい課外活動を行なっている大学学生、中高部生徒の団体に、賞状および賞金または記念品を授与する。

(5) 神戸女学院創立150周年記念寄付事業

2025年（令和7年）の神戸女学院創立150周年を機に、神戸女学院への教育振興寄付を行ったが、2026年度（令和8年度）も、以下の通り教育振興寄付を行なう。

- ・神戸女学院創立150周年記念めぐみ寄付講座（大学学生対象）3講座を開催
講師：一田 憲子氏、武内 陶子氏、恒川 久美氏
- ・神戸女学院創立150周年記念めぐみ寄付講演会（中高部生徒対象）を開催
講師・回数は検討中
- ・神戸女学院講堂2階空調設備改善工事費用支援

(5)の財源については、2025年度（令和7年度）の「神戸女学院創立150周年記念めぐみオリジナルグッズ」の製作販売による収益、および「神戸女学院創立150周年記念めぐみ寄付」（2026年3月末日まで募集）等を充てる。

2. 信仰を育成し、知性を深めるための講演会・研究会・教室等の開催により生涯教育の場を広く一般に提供し、豊かな人間性を涵養する事業

(1) 2026 めぐみ講演会

知性を深めるための講演会やセミナーなどを開催して、広く一般を対象に生涯教育の場を提供し、豊かな人間性を育む。

・10月13日(火)

講演タイトル：舞踊が私たちに教えてくれること

講師：振付家・神戸女学院大学音楽学部音楽学科舞踊専攻教授 島崎 徹氏

・10月31日(土)

講演タイトル：富田一樹パイプオルガンコンサート

講師：オルガニスト・神戸女学院大学音楽学部音楽学科非常勤講師 富田 一樹氏

(2) 2026 キリスト教セミナー

キリスト教についての理解を深める講座を開催することにより、キリスト教的教養を涵養し、信仰を育成する。

総主題 岡田山うまれの〈詩編による音楽作品〉から一詩編を読むきっかけとして(全2回)

講師：学校法人神戸女学院 前院長 飯 謙氏(2回共)

・第1回 9月29日(火)

講演テーマ：詩編 150 編〈なかにしあかね《詩編 150 編 神をたたえよ 音 高らかに》〉より

・第2回 11月24日(火)

講演テーマ：詩編 42 編〈角峯夏《女声二部合唱とピアノのための詩編 42 編 涸れた谷に鹿が水を求めるように》〉より

(3) 2026 アートセミナー

芸術・文化に関するセミナーを開催することで、広く一般を対象に知識・教養を習得し見識を深める機会を提供する。

総主題：ハプスブルクとブルボンー宮廷美術の精華(全2回)

講師：大阪大学大学院人文学研究科教授・神戸女学院大学文学部非常勤講師
岡田 裕成氏(2回共)

・第1回 6月8日(月)

講演テーマ：ハプスブルク・スペインの皇帝カルロスの結婚式
ールネサンス・タピスリーに飾られた祝祭

・第2回 6月22日(月)

講演テーマ：ルーベンスが描いたブルボン家王妃マリーの生涯
ールーブル美術館の名品を読む

(4) 「神戸女学院めぐみ教育基金」招聘教員による特別講演会

・日程・タイトル未定

講師：神戸女学院大学国際学部グローバル・スタディーズ学科客員教授
岸上 伸啓氏

(5) 講話会

神戸女学院が宗教強調週間に招く講師を迎え、講話会を開催し、神戸女学院の教育の基礎であるキリスト教に触れる機会を提供する。

・11月12日(木)

講師：未定(神戸女学院宗教強調週間講師)

同日合同追悼会を開催

上記(1)～(5)の講演会、セミナー等を計画している会場は、めぐみ会館あるいは学院内を使用しているので会場費は発生せず、講師は当法人の理念について十分に理解のある専門家に依頼しているため謝金はきわめて薄謝である。そのため受講料も一般の方々に参加しやすい価格に設定している。多くの一般の方々に参加していただけるよう、様々な広報媒体を利用し広報活動を行なう。またアンケートを実施し、一般の方々の需要に応えられるようにする。

(6) 外国語教室

主にネイティブスピーカーを講師とする教室を開催し、単に外国語を学習するだけではなく国際相互理解の促進を図る。

・英語教室 [I] 金曜日クラス 講師：Nathaniel Carney

[II] 水曜日クラス 講師：小寺 里砂

(7) 音楽教室

地域の人々や学生・生徒に、生涯教育の一環として豊かな情緒を育む音楽教育の場を提供する。質の高い指導を廉価で提供する。

・ピアノ 講師：島 敏子 新野 ダリア 都筑 麻衣子 増永 智子

・オルガン 講師：片桐 聖子 前田 直子 大野 明子 山本 真希 追中 宏美

・チェンバロ 講師：秋田 直美

・ヴァイオリン 講師：菊本 恭子 藤原 由美子 田原口 安代

・フルート 講師：吉村 麻衣子 松田 晴香

・声楽・ヴォイストレーニング

講師：松田 緑 西田 真由子 鬼一 薫

(6)～(7)の教室は、めぐみ会館内で行なわれているので会場費は発生せず、一般の方々にも参加しやすい料金設定を維持する。音楽教室については、めぐみ会館にて2027年3月(予定)に発表会を開催する。

(8) 各支部において一般公開の講演会や音楽会を開催

各支部において、一般の方々も対象にした、公益目的事業を計画している。

3. 神戸女学院在学中の受入れ留学生を含む在学学生及び卒業生に対する奨学金の授与により、学術、文化及び教育の振興・普及、国際相互理解の促進を通じて社会に貢献する事業

- ・卒業支援奨学金 対象：学費の補助を必要とする神戸女学院大学学生、中高部生徒
- ・修学支援奨学金 対象：学費の補助を必要とする神戸女学院大学2～4年生
- ・海外留学奨学金 対象：神戸女学院大学認定留学制度を利用して海外留学を行なう学生
- ・受入れ留学生奨学金 対象：神戸女学院に在学中の受入れ留学生
- ・研究奨励奨学金 対象：国内外の大学院等において研究中の会員
- ・辻秀子奨学金 対象：キリスト教や聖書について研究中等の会員

その他の公益目的事業

- ・神戸女学院の在学学生及び卒業生の有する各種技能・能力を社会に活かすためのコーディネイト活動
- ・めぐみ会ホームページ、めぐみ会公式SNSによる広報活動、法人情報公開
- ・災害被害者支援

II. 収益事業

1. 結婚支援事業

・MMS（Megumi Marriage System）の運営

当法人の結婚支援事業は、1976年に事業を開始以来、当法人関係者に結婚のための出会いの場を提供している。役員や会員が無報酬で運営していること、会場が当法人所有の会館であるため一般の結婚紹介企業と比べて費用は廉価である。2026年度（令和8年度）は休止。

Ⅲ. その他の事業

当法人の会員は、神戸女学院で受けた教育を「めぐみ」と受け止め、その感謝を公益目的事業として具現化している。その「めぐみ」を確認し、事業遂行の推進力とするために、「その他の事業」として、会員の友誼を深めるための行事を開催している。会員はそれぞれ支部に所属し、各支部では地域の独自性を生かしながら支部会を開催している。また、会員が当法人の理念を確認する手段として、年1回会員向けに広報誌『めぐみ』を発行し、当法人の事業・会員についての情報及び学校法人神戸女学院の情報を発信している。その他、当法人のオリジナルグッズを企画し、販売している。

1. 広報誌『めぐみ』115号の発行 5月1日（金）

2. 会員の友誼を深めるための行事の開催

- ・各支部における支部会の開催
支部に属する会員の友誼を深めるとともに、支部の会計報告・事業報告をする場とする。
- ・支部長会の開催 6月18日（木）
支部長等が支部の情報の交換をすることにより、それぞれの支部活動の活性化を図る。

3. 記念品事業

- ・オリジナルグッズの企画と販売をする。

4. 収蔵資料の管理

【管理部門】

I. 法人管理

1. 総会の開催

- ・2026年度定時総会 6月18日（木）

2. 理事会の開催

- ・定例理事会 年間11回（8月を除く）

II. 規則整備

III. 会員データの管理と整備

IV. 会館管理

- ・長期計画に基づく維持管理

V. コンピュータシステムの総合管理

◆学校法人神戸女学院への協力

以下の組織・委員会に構成員を送る

1. 学院理事会・学院評議員会
2. 学院教育振興会役員会
3. 学院めぐみ教育基金運営委員会
4. 学院愛校バザー実行委員会
5. 学院カレンダー委員会